

あこがれのたいこ



大勢のお客さんの前で緊張する姿もありましたが、8名気持ちを合わせて叩く姿がかっこよく、自信に満ち溢れていました。「うちのひとにみてもらえてうれしかった」「ちょっときんちょうしたけど、たたいてるうちにだんだんたのしくなってきた」と、色々感じながら叩いていた子ども達です。温かい応援をありがとうございました。



くま組さんはそう組さんの太鼓を見てから「どんどんどん・はい」「どこどこどん・はい」と叩く真似をしていました。太鼓を叩いてみたい気持ちが強くなり、そう組さんに教えてもらいました。そう組さんは、横で叩き方を教えたり、後ろから手をもって教えたりと色々考えて教える姿に年上としての気持ちが強くなっていると感じ嬉しく思いました。くま組さんは、目を“キラキラ”させながら楽しんで叩いていました。この経験がそう組さんへのあこがれになっていくのだなと思いました。

